

1998年4月

課題サマリー

<課題番号> 1998-B1-1-3

1998年4月30日現在

VER4.0

# 入門テュートリアル

<課題名> 何の薬? <課題担当教室(責任者)> エンジェロ・リレーションズ委員会

(千原宮竹)

## 課題No.2

<著者/発表者> 藤木 健

<中心テーマ> トクソクコムニケーション

<課題のねらい>

- (1) テュートリアルのコンセプトを把握し、学習の内容を方向性のあるものとする。
- (2) 自己学習、自主学習、協働学習のメリットを把握し、学習の効果を高める。
- (3) バイオエッセンスの薬理作用、副作用、禁忌、注意点を把握し、適切な薬物療法を提案する。

<キーワード> トクソクコムニケーション、患者の権利の保護

バイオエッセンス、薬理作用、副作用、禁忌、注意

<課題レポート> 発表3枚

14-1

「どの薬が最も効果的か」を判断するための指標として、薬物の作用機序、副作用、禁忌、注意点を比較検討する。

14-2

88のMは、50のMと比べて、副作用が少ない。また、副作用が少ないため、高齢者や小児に使用しやすい。また、副作用が少ないため、長期投与が可能である。

ヒューマン・リレーションズ委員会

<イニシャル/発表者>

J

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。



## 課題シートの内容

学生に渡す課題シートは2枚あります。テュートリアル初回に渡すシート1と、テュートリアル途中で渡すシート2です。

### シート1

外来患者さんの50%は、医師の指示通りに服薬していないという。

### シート2

58才のM氏は、高血圧と糖尿病のために、6年前から飲み方の異なる4種類の薬を処方されています。しかし、体調が良いと、勝手に薬の種類や量を減らしています。また、それぞれの薬の名前やその作用および副作用について詳しくは知りません。